

ブロムシュテット、ラトル、ノセダ、ネゼ=セガン など
偉大な指揮者たちと共演を重ねる

当代英国屈指の名匠、
9年ぶりの
来日が実現!!

格調と威厳に圧倒
される一夜

クリスチャン・ブラックショウ
ピアノ・リサイタル

比類なきドイツ音楽の深みへ

モーツァルト：アダージョ 口短調 K.540

シューマン：交響的練習曲 Op.13 (遺作変奏曲付)

シューベルト：ピアノ・ソナタ 第21番 変口長調 D960

2026

9/10

Ⓜ

19:00開演(18:30開場)



浜離宮朝日ホール

(大江戸線「築地市場駅」すぐ)

全席指定 一般 ¥6,800 / 学生(24歳以下、当日要証明書) ¥2,800

ネット予約：朝日ホール・チケットセンター / チケットぴあ / イープラス / オフィス山根

就学前のお子様のご入場はご遠慮いたしております。

託児サービスをご利用ください。

要予約 イベント託児・マザーズ

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く 10:00-18:00) <https://asahihall-ticket.jp/>

0120-788-222

*プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。



Christian Blackshaw

ウィグモアホールの常連にして、ラトル、ノセダ、マリナー、ネゼ=セガンなどと共演の名匠

多忙なツアーの合間を縫い 東京1公演のため来日!!



クリスチャン・ブラックショウ
ピアノ

比類なき音楽性、情熱的かつ繊細なピアノリズム、そして深い洞察力が非常に高く評価されてきた。イギリスのチェシャーに生まれ、マンチェスター王立音楽大学とロンドン王立音楽院においてゴードン・グリーンに師事し、両校で金メダルを授与された。その後イギリス人ピアニストとして初めてレニングラード音楽院へ留学しモイセイ・ハルフィンに学ぶ。さらにロンドンでサー・クリフォード・カーゾンに師事して研鑽を積んだ。

ソリスト、室内楽奏者として世界各地のホールや音楽祭に出演。サー・サイモン・ラトル、ジャンドレア・ノセダ、サー・ナルド・ラニクルズ、ヘルベルト・ブロムシュテット、トレヴァー・ピノック、ネー・メ・ヤルヴィ、ヤニック・ネゼ=セガンといった数多くの名指揮者と共演を重ねている。また、2013年に創設されたヘレンズミュージック・フェスティバルの創設者であり、ディレクターも務める。

ウィグモアホールで行われたモーツァルトのピアノソナタ全曲演奏会は同ホールのライブ・レーベルから4枚のアルバムとしてリリース

され絶大な称賛を浴びた。批評家たちは「画期的」「魅惑的」「魔法のよう」「見事だ」などと一様に絶賛した。4枚目の録音はニューヨーク・タイムズ紙の「ベスト・クラシカル・レコーディング」に選出され、グラモフォン誌の「史上最高のモーツァルト録音50選」に名を連ねた。

近年の特筆すべき活動として東京、北京、上海、モントリオール、スネイクでモーツァルトのピアノソナタ全曲演奏会を開催したほか、ネゼ=セガン指揮フィラデルフィア管弦楽団およびモントリオール・メトロポリタン管弦楽団、クラウス・ペーター・フロール指揮ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団との共演や、シュヴェツィンゲン、スペインのヴィラベルトラン・シューベルティアード、レーリチ、オックスフォード、オールドバラ、エディンバラといった音楽祭へ出演している。またバルセロナのカタルーニャ音楽堂、パリのシャンゼリゼ劇場でも演奏した。2019年の新年の叙勲において、音楽界への貢献により大英帝国勲章 (MBE) を授与された。

ブラックショウは昨夏、中国で大規模なリサイタル・ツアーをしていた。知り合いのエージェントに「来ないか」と言われ、久しぶりにブラックショウに会いに行こうと思いい立ち、北京そして上海で聴いた。えもいわれぬ風格の漂うたたずまい、そして格調高い演奏に、大ホールを埋め尽くした聴衆は熱狂した。日本の聴衆にもまたぜひ聴いてほしい、とそのとき思った。夜、ホテルに戻り、ダンプリングを食しながら本人と再来日の話をし、確約を得た。この9月、名匠がまた、東京に戻ってくる。しかも演奏するのはドイツ音楽の傑作ばかりだ。名匠の指から生まれ出る豊かで深い音楽に耳を傾けたい。

山根悟郎

